

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
JR魚住駅周辺地区

平成22年11月

兵庫県明石市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	バリアフリー化率	%	0	70	81	確定	○	あり	100	H22年3月	○	-	明石市交通バリアフリー道路特定事業計画で特定経路に定められている魚住駅南線の一部、およびそれらに接続する道路の一体的整備により、地区のバリアフリー状況が大きく改善された。
						見込み ●							
指標2	公共施設利便性率	%	30	50	80	確定	○	あり	79	H22年3月	○	-	関連事業のJR魚住駅への自由通路新設と駅前広場の整備、および基幹事業である特定経路等の整備により、公共施設への大幅なアクセスの改善とバリアフリー化が図られた。
						見込み ●							
指標3	歩行者空間満足度	%	52	70	100	確定	○	あり	73	H22年10月	○	-	基幹事業の道路整備および高質空間形成施設の緑化施設等により、駅周辺の道路環境についての満足度が高まっており、安全かつ快適な歩行空間として評価を受けた。
						見込み ●							

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	公共施設利用者数	人/日	477	/	720	確定	/	/	697	H22年3月	/	-	関連事業による駅自由通路の開通や南側道路整備により、公共施設である市立西部市民会館・市立西部図書館へのアクセスが改善され、幅広い利用者の増加につながったと考えられる。
その他の数値指標2	駅周辺空間満足度	%	28	/	97	確定	/	/	97.5	H22年11月	/	-	アンケート調査の結果、関連事業によるJR魚住駅への自由通路や駅前広場の整備を評価する市民の意見が最も多かった。また、道路や駅前広場の一体的整備により、駅南側が発展することが満足度の向上につながったと考えられる。

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	整備された交通環境の維持	・地元による啓発活動等の取り組みを支援した。 ①自転車マナーアップキャンペーン開催(チラシ配布等) ……H22年1月～3月 ②自転車無料点検・安全走行啓発チラシ配布(コープ魚住にて実施) ……H22年9月～12月	・駅周辺の利用に関するマナーの周知が図られた。	
	バリアフリー設備の機能維持			・4校区連絡会活動に引き続き協力していく。
	駅周辺の景観等の維持			・4校区連絡会活動に引き続き協力していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	整備による交通の変化への対応、及び駅西側の踏切周辺の安全性改善			・駅周辺での通過交通減少に向けた、駅東で南北交通を処理する都市計画道路長坂寺線(W=12m)整備 ・4校区連絡会活動に引き続き協力していく。
	駅前広場の交通環境の改善	・地元からの要望を踏まえ、一般車両の乗降用スペース及び公共交通事業者(バス・タクシー会社)の停車スペースの周知徹底等、駅前広場の利用に関するルール作りを支援した。	・駅前広場の交通環境の改善が図られた。	
	駅北側のにぎわいや商業機能低下の改善及び駅南北地域の景観向上やコミュニティの一体化促進			・4校区連絡会活動に引き続き協力していく。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし (設定したいずれの指標についても、期待された数値がでているため)			

# 都市再生整備計画

うおずみえきしゅうへんちく  
JR魚住駅周辺地区

ひょうご あかしし  
兵庫県 明石市



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(市民の生活拠点の形成と促進)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道で分断された南北地区を連絡する自由通路を整備することにより、安全快適な歩行者動線を確保し、魚住町南北地区の一体化を図る。</li> <li>・駅南北の駅前広場の整備を行い、交通結節点改善事業によって駅舎の橋上化がされることにより、駅周辺の円滑な交通処理と歩行者・自転車の安全性・利便性を向上させ、交通結節点機能の強化を図る。</li> <li>・交通結節点機能の向上を図るため、駅前広場、自由通路への駅利用者のアクセス道路として魚住駅南線、魚住駅駅前線、新幹線側道、歩行者系道路を整備する。</li> </ul> <p>(地域のバリアフリー化を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー重点地区として、視覚障害者や聴覚障害者が安心して利用できる特定経路の歩道整備や情報面のバリアフリー化を進める。</li> <li>・緑化等歩道の美装化を行うことにより、地域の景観改善と空間整備を図る。</li> </ul>	<p>街路事業(関連事業/駅前広場、自由通路、市)、駅舎施設整備(関連事業、鉄道事業者) 道路事業(基幹事業/道路整備、電線共同溝/市)</p> <p>地域生活基盤整備事業(基幹事業/情報版/市) 高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等、福祉空間施設、障害者誘導施設、バリアフリー対応公衆トイレ/市)</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する地元の熱意 昭和58年から魚住連合自治会・市からJRへ橋上化の要望を行ってきたが、JR主体の事業化が困難であると回答を受け、平成8年度に「魚住町まちづくり協議会」を発足し、住民によるまちづくりの調査・研究が行われてきた。 平成11年には、協議会より地区にある明石工業高等専門学校に住みよい町づくりの研究を依頼し、ワークショップの開催を行った。 ワークショップ内容 ① 講演『21世紀に向けた魚住のまちづくり』 ② 『福祉の駅づくり 阪急伊丹駅見学会』 事業の実施にあたり協議会を軸に計画段階からの参画希望が非常に強い。</li> <li>・新たな交通手段 市としては、新設する駅南広場に地域の新しいアクセス手段となるコミュニティバスの運行を計画し調査している。 駅前広場(駅北)は、民間バスが参画の意思を示している。</li> <li>・事業の熟度 平成20年度完成予定の駅橋上化に合わせて事業を進めてゆく。 事業実施の年度になり、まちづくり協議会を中心に地域住民の参画要望が一層強まっている。 駅の橋上化を中心にバリアフリー化・休息空間の充実に向けて市と地元の協議回数が今後増えてゆく予定である。 平成15年度よりまち総事業で事業着手している。</li> <li>・事業終了後の継続的なまちづくりと成果 まちづくり協議会における関係者との協議に基づき、植栽の手入れ、清掃等の管理活動が活発になるように進めていく。 自由通路にギャラリーを設けてサークル活動の発表の場とし、その結果交流活動が盛んになる。 自由通路とアクセス道路の整備により西部市民会館の交流活動が活発になる。 歩道の美装化等の空間整備により、潤いと交流の空間を創出する。</li> </ul>	

